

議会村民アンケート調査集計結果

中札内村議会では、議会活動の取組の一つとして、令和7年度に村民の皆様アンケートを実施しました。

無作為抽出により500名の方に発送し、広報からの回答も含め194名の方よりご回答をいただき、心より感謝申し上げます。

今回のアンケートは、令和2年度に実施した調査に続く2回目の取組として、村民の皆様が議会や議員活動についてどのように感じておられるのか、また議会に何を期待されているのかを把握し、今後の議会活動の充実につなげることを目的として実施いたしました。

議会といたしましては、1回目のアンケート調査結果をもとに、議会だよりを更に見やすくするために広報モニター制度導入・住民参加型予算制度によるワークショップ・村民の方が気軽に話し合えるまちなかカフェの開催・各種団体との意見交換会・村の諸行事への積極的な参加など一歩ずつ議会改革を進めているところですが、今回アンケート調査結果をみますと、まだ道半ばであることがうかがえます。また、記入欄にも多くの皆様よりご意見をいただきありがとうございました。

反省すべき点は反省し襟を正し、議会議員それぞれが今後の村づくりのため研鑽を積み重ね、開かれた議会・村民に身近で村民の代表として意見をくみ取れる議会を目指し努力してまいります。

中札内村議会 議員一同

議会村民アンケート調査集計

アンケートの方法 無作為抽出500人（村内在住満18歳以上）を対象にアンケートを送付（ネット回答も可能）
広報誌にQRコードを掲載し、18歳以上の村内在住者であれば回答可能とした。

無作為抽出の内訳	18・19歳	男10名・女10名	20～29歳	男35名・女35名	計500人
	30～39歳	男35名・女35名	40～49歳	男35名・女35名	
	50～59歳	男40名・女40名	60～69歳	男35名・女35名	
	70～79歳	男35名・女35名	80歳以上	男25名・女25名	

回答者の内訳	18～29歳	男13名・女11名	40～49歳	男12名・女14名	計177人
	30～39歳	男7名・女11名	60～69歳	男16名・女15名	
	50～59歳	男13名・女17名	70歳以上	男25名・女23名	
	70歳以上	男25名・女23名			

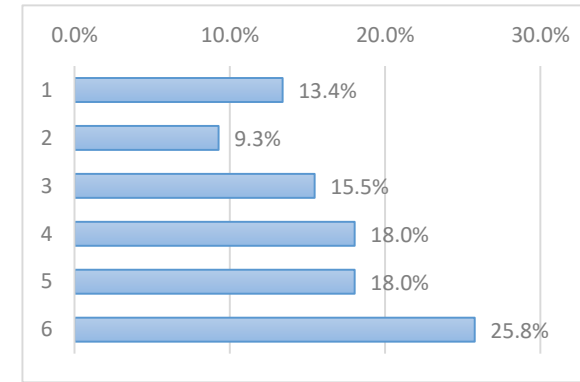
広報経由回答者内訳	18～29歳	男0名・女2名	30～39歳	男0名・女0名	計17人
	40～49歳	男3名・女1名	50～59歳	男3名・女2名	
	60～69歳	男3名・女1名	70歳以上	男0名・女2名	

回収率 37.5% 女性51.0% 男性49.0%

アンケートは、無作為抽出した500名に各年代ごとに男女同数に送付した。あわせて、広報に掲載したQRコードからの回答も受付し、広報経由の回答者は17名であった。結果としては、全体で37.5%の回収率となり、男女別では、女性51%・男性49%でおおむね同比率であった。

貴方の年齢は

	女	男		
① 18～29歳	13	13	26	13.4%
② 30～39歳	11	7	18	9.3%
③ 40～49歳	15	15	30	15.5%
④ 50～59歳	19	16	35	18.0%
⑤ 60～69歳	16	19	35	18.0%
⑥ 70歳以上	25	25	50	25.8%
	99	95	194	

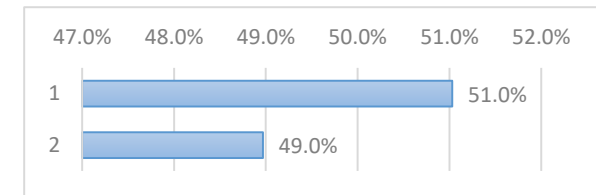


70代以上の割合が、25.8%と最も高く、次に50代・60代が18.0%、40代が15.5%、10・20代が13.4%と続き、最も低いのは、30代の9.3%となっている。

1

貴方の性別は

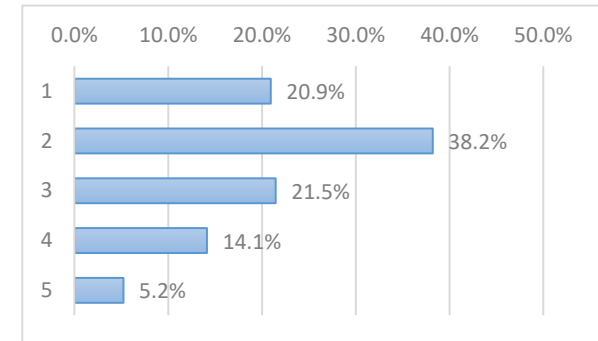
	18～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70以上	合計	
① 女性	13	11	15	19	16	25	99	51.0%
② 男性	13	7	15	16	19	25	95	49.0%
	26	18	30	35	35	50	194	



女性の割合が51%・男性の割合が49%で、女性がわずかに上回る結果となり、女性の関心がやや高い傾向がうかがえる。また、年齢階層別に見ると、30代では女性の割合が高い一方、それ以外の年代においては男女の割合はおおむね同程度であった。

問1 貴方は議会の関心がありますか。

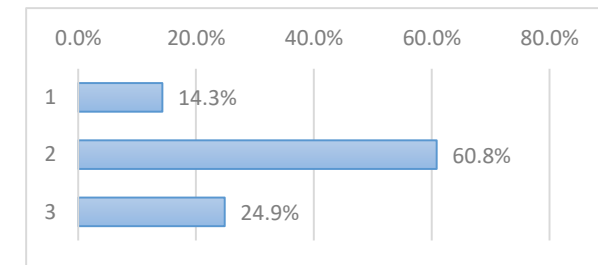
	18~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70以上	合計	
① 関心がある	6	3	0	9	9	13	40	20.9%
② どちらかといえば関心がある	8	8	15	14	8	20	73	38.2%
③ どちらともいえない	3	4	8	6	10	10	41	21.5%
④ どちらかといえば関心がない	6	3	4	6	4	4	27	14.1%
⑤ 関心がない	1	0	3	0	3	3	10	5.2%
	24	18	30	35	34	50	191	



「どちらかといえばある」が38.2%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が21.5%、「関心がある」が20.9%という結果になり、関心を持つ層が過半数を占めている。年代別に見ると年代が上がることに関心が高くなる傾向が見られる。

問2 貴方は議会の傍聴をしたことがありますか。

	18~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70以上	合計	
① ある	5	2	1	1	4	14	27	14.3%
② ない	10	11	25	22	19	28	115	60.8%
③ 議場での傍聴はないがインターネット中継で見たことがある	9	5	4	11	12	6	47	24.9%
	24	18	30	34	35	48	189	



ネット中継や実際に議会を見たことがある方は、合わせて39.2%で、約6割が傍聴したことがないと回答。ないと回答されたかたの理由としては、「時間がない」、「仕事をしている」、「関心がない」などの理由が多い。また、「傍聴できる日時がわからない」という方もいた。

ないと回答した方に伺います。傍聴したことがない理由は。

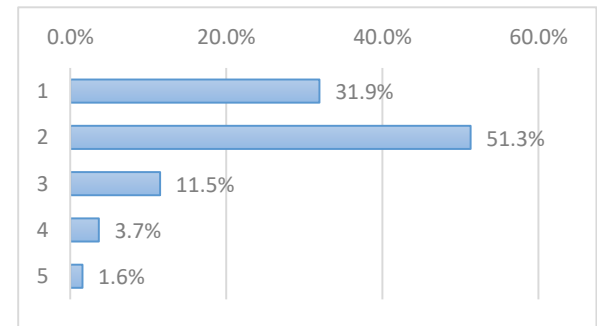
18 ～ 29	女	傍聴しようと思ったことがないから。
	男	時間がないため。
	女	興味・意識したことないから。
	女	関心を向けたことが、今までにない。
	女	難しそうだから。議会がそもそもどんな役割をしてるのかあまり分かっていない。
	男	仕事上、時間が難しい為。
	男	気にはなるが、他のこと（家事や仕事、趣味等）と比較して優先順位が低いため。
	女	いつ何をしてるのかわからない。
	女	機会がない。
30 ～ 39	女	そこまでの時間と興味はない。
	男	知らなかった。
	女	興味を持ったことがなかったため。
	女	仕事をしているため。
	女	いつやっているのかわからない。
40 ～ 49	男	結果だけ広報誌等で情報が得られれば良いので。
	女	平日、日中は仕事しているため。
	女	引っ越して間もないため。
	女	いく暇がない。
	女	関心が無い。
	女	仕事があった、もしくは議会の日にちを知らなかったため。
	女	タイミングがあわない。
	男	傍聴できる事自体知らなかった。
	女	行こうと思わないから。
	男	興味がない。
	男	仕事している時間なので、タイミングが合わない。
女	都合が合わない。	

40 ～ 49	女	傍聴するほど興味がない。
	女	平日は仕事をしているため。
	女	よほど自分に関わることでないと傍聴しようと思わない。
	女	優先順位が低いいため、他にやる事がある。
	女	どこで行われているか知らない。
	男	傍聴してもいいか知らないから。
	女	議会の日程が分からなかったため。
50 ～ 59	女	日時場所がよくわからない。自分で行っても良いのかもわからない。
	女	仕事をしているので聞く機会がないため。
	男	暇がない。
	女	仕事が忙しくて時間がない。
	女	忙しいから。
	女	時間が取れない。
	女	仕事時間と重なるから。
	女	仕事や子育てに追われているので時間を割くことができないため。
	男	機会がない。
	男	議会だよりはよく読んでいるので、とりあえずそれで充分だと思っている。
60 ～ 69	女	ちょっと敷居が高い感じがしている。
	男	明確な開催日時が分からない。
	女	時間が合わないため。
	男	関心がない。
	女	村広報誌・議会だよりを見ているだけで十分だと。
	男	平日、日中ですと仕事がある人は参加できない。
	女	身近で困ったことがない。選挙時の公約が守られていると信じているので。
	男	形式的。
	男	必要がない。
	女	いつ開催されているか知らない。仕事で行くことができない。

70以上	男	議会だより来るから。
	女	いつやっているか知らない。
	男	遠い。
	男	時間がない。
	女	年齢的に無理。
	女	一方的な議員さんがいて、混乱してしまう事があると聞きました。議員さんが、本当に活躍出来ているのか分からない。
	女	勤務や家事に重なる為。
	女	議会便りを観るので、行けなくても良いのかと思ひまして…
	女	開催時間が仕事と重なるため。
	女	いつ傍聴できるか、場所がわからない。
	女	傍聴する機会がない。

問3 貴方は議会だより（年4回発行）をご覧になったことがありますか。

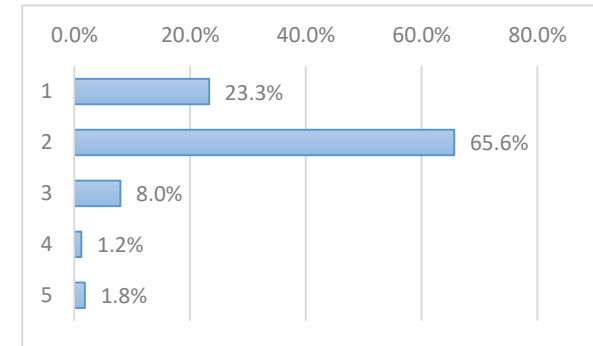
	18~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70以上	合計	
① すべて読む	3	4	8	12	10	24	61	31.9%
② 関心のあるものだけ読む	9	11	14	18	21	25	98	51.3%
③ ほとんど読まない	6	3	7	3	2	1	22	11.5%
④ 全く読まない	3	0	1	1	2	0	7	3.7%
⑤ 議会だよりの存在を知らない	2	0	0	1	0	0	3	1.6%
	23	18	30	35	35	50	191	



「関心があるものだけ読む」が51.3%と割合が高く、次に「すべて読む」が31.9%と83%の方が読んでくれているが、17%が「ほとんど読まない」「全く読まない」「存在を知らない」となっている。年代が若くなるほど読まれていない方が多い。

問4-1 問3で①又は②を選んだ方にお聞きします。特に関心のある記事は何ですか。

	18~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70以上	合計	
① 予算・決算に関すること	5	6	4	7	7	9	38	23.3%
② 一般質問に関すること	4	9	19	22	25	28	107	65.6%
③ 議会活動報告（行政視察等）に関すること	2	2	1	0	2	6	13	8.0%
④ 編集後記	1	1	0	0	0	0	2	1.2%
⑤ その他	0	1	0	1	0	1	3	1.8%
	12	19	24	30	34	44	163	



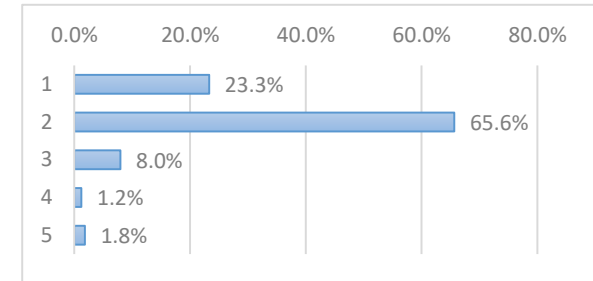
「一般質問に関すること」への関心が65.6%と最も高く、次いで「予算・決算に関すること」が23.3%となっている。一方でその他の内容については関心が低い傾向にあり、年代別では、50代以上で一般質問への関心が高く見られる。

その他と回答した方に伺います。具体的な理由は。

全年齢	女	子育てに関すること
	男	教育支援関係
	女	農業に関すること
	男	全般を見ている

問4-2 議会だよりについて広報モニターの意見を取り入れて見やすくするよう工夫（カラー掲載や写真箇所を増やすなど）
してきていますが、感想は？

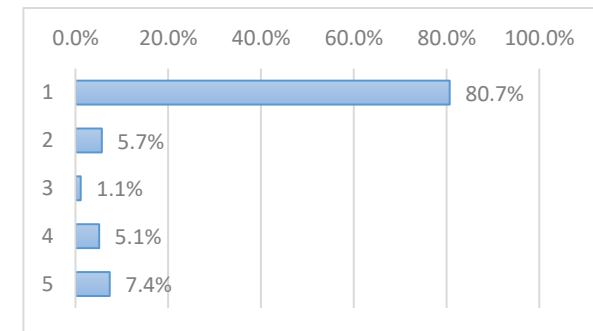
	18~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70以上	合計	
① 非常に見やすくなった	3	1	2	6	4	6	22	12.8%
② 見やすくなった	11	10	19	17	17	34	108	62.8%
③ 変わらない	4	3	5	9	12	8	41	23.8%
⑤ 見づらくなった	1	0	0	0	0	0	1	0.6%
	19	14	26	32	33	48	172	



「見やすくなった」が62.8%、「非常に見やすくなった」が12.8%となり、全体の75%が議会だよりの改善を評価している。一方で「変わらない」は23.8%、「見づらくなった」は0.6%にとどまっており、カラー掲載や写真増加の工夫は概ね好意的な結果となった。

問5 貴方は議会の議員の活動状況などの情報をどこから得ていますか。

	18~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70以上	合計	
① 議会だより	10	12	28	24	30	38	142	80.7%
② 議員から直接聞いている	3	1	1	1	2	2	10	5.7%
③ 議員個人の報告会	0	0	0	2	0	0	2	1.1%
④ ホームページ	4	1	0	0	2	2	9	5.1%
⑤ その他	3	3	0	5	0	2	13	7.4%
	20	17	29	32	34	44	176	



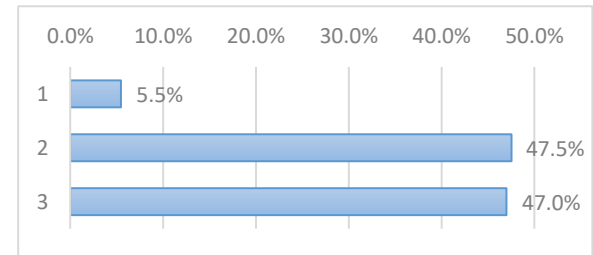
議会だよりから情報を得ている方が80.7%と最も多い一方で、議員直接・報告会は6.8%と少ない。その他としては「知友人・家族から情報を得ている」方が多い。

⑤その他（具体的に）

18~29	女	特に情報を得ていない。
	男	Instagram。
	女	家族や知人など。
	女	存在を知らない。
30~39	男	特に聞かない。
	男	YouTubeで議会を見るなどしている。
50~59	女	家族の会話の中で知ることが多い。
	女	町内会には行ってないため、広報をみることはない。
	男	知らない。たまに風のうわさで聞くくらいかな。
70以上	女	知り合いから情報を得ている。
	男	人からの話。

問6 貴方は議会や議員の活動状況を知らせる報告会や意見交換会（懇談会）に参加したいと思いますか。

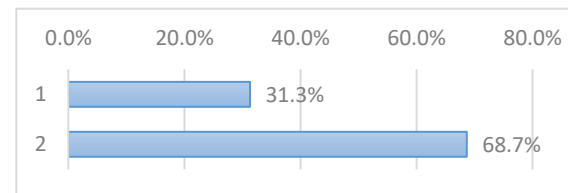
	18~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70以上	合計	
① ぜひ参加したい	0	1	1	1	4	3	10	5.5%
② 都合がよければ参加したい	13	7	15	13	16	23	87	47.5%
③ 参加したくない	11	10	14	20	14	17	86	47.0%
	24	18	30	34	34	43	183	



「都合がよければ参加したい」が47.5%と最も多く、「ぜひ参加したい」5.5%を合わせると、半数以上が報告会や意見交換会への参加意向を示している。「参加したくない」も47.0%となっており、参加意向が二分される結果となった。特に高齢層での参加意向が比較的高い傾向が見られる。

問7 あなたは夜間議会や日曜議会があれば傍聴してみたいですか。

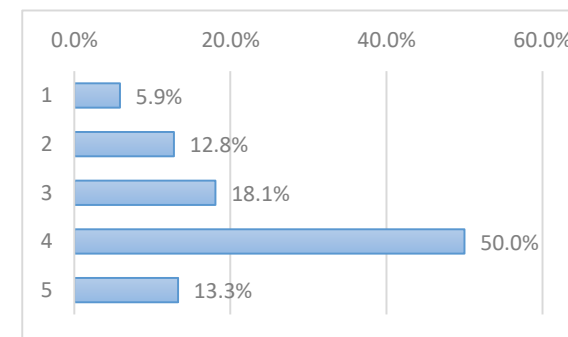
	18~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70以上	合計	
① 参加してみたい	7	4	11	9	11	15	57	31.3%
② 参加しない	17	13	19	25	23	28	125	68.7%
	24	17	30	34	34	43	182	



「参加してみたい」が31.3%、「参加しない」は68.7%となり、全体としては参加に消極的な傾向が見られる。年代別にみると「参加してみたい」は70歳以上が15人と最も多く、次いで40代・60代がそれぞれ11人となっており、若年層ほど参加意向が低い傾向にある。

問8 貴方は議会本会議の様子をインターネット中継し、生中継や録画中継をパソコンなどで見ることができますが、インターネット中継をご覧になったことはありますか。

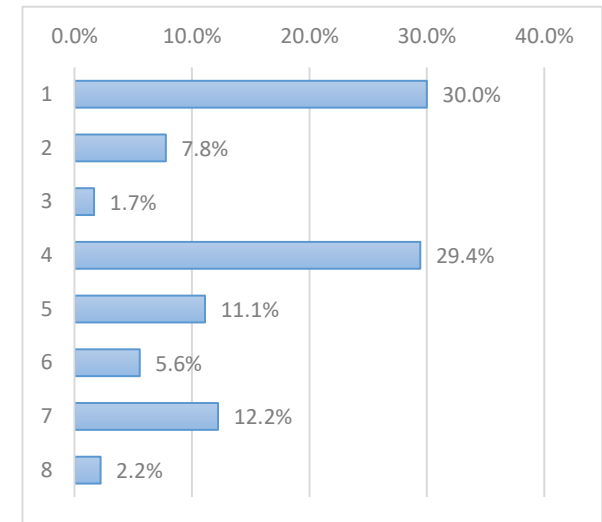
	18~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70以上	合計	
① 毎回見ている	3	0	0	4	1	3	11	5.9%
② 関心のある時に見ている	3	2	3	5	6	5	24	12.8%
③ 見たことがある	4	4	3	7	11	5	34	18.1%
④ 見たことがない	9	9	20	17	13	26	94	50.0%
⑤ インターネットの中継の存在を知らない	5	4	5	1	4	6	25	13.3%
	72	57	93	102	105	135	188	



「毎回見ている」「関心がある時」「見たことがある」を併せると36.8%となり、一定数が視聴した経験があるが、「見たことがない」「存在を知らない」が63.3%となり、6割を占める結果となった。特に「見たことがない」が全体の半数を占めている。

問9 議会では村民の様々な意見を村政に反映するために、議会の活性化を検討しています。貴方が一番力を入れてほしいと思うことは何ですか。

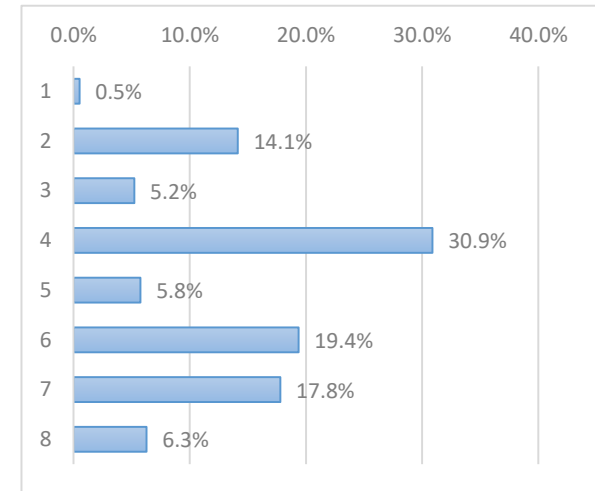
	18~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70以上	合計	
① 村民の声を議会に届ける仕組みづくり（意見交換会・懇談会など）	6	4	7	9	10	18	54	30.0%
② 議会の情報発信の充実	2	3	0	3	6	0	14	7.8%
③ 議会の傍聴や配信などの工夫	0	0	1	1	0	1	3	1.7%
④ 子どもや若者の意見を反映する仕組みづくり	14	7	14	11	4	3	53	29.4%
⑤ 多様な立場の人が議員になれる環境づくり（なり手不足対策など）	0	0	3	4	8	5	20	11.1%
⑥ 議員の研修や資質向上	1	2	2	2	2	1	10	5.6%
⑦ 議会の政策提案力の強化	1	3	1	2	9	6	22	12.2%
⑧ その他	0	0	1	0	2	1	4	2.2%
	24	19	29	32	41	35	180	



「村民の声を議会に届ける仕組みづくり」が30%と最も多く、「子どもや若者の意見を反映する仕組み作り」が29.4%となった。幅広い世代の声を聞き取り村政へ反映していく役割を強く求められている。また、「議会の政策提案力の強化」及び「多様な立場の人が議員になれる環境づくり」が約12%となっており、議会機能そのものの向上や、多様性のある議会構成への期待も一定数見られた。年代別では、若い世代ほど「子どもや若者の意見を反映する仕組みづくり」を選択する割合が高く、高齢層では「村民の声を議会に届ける仕組みづくり」を重視する傾向がみられる。

問10 全国的に地方議会議員のなり手不足が問題とされていますが、その原因は何だと思えますか。

	18~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70以上	合計	
① 議員定数が少ない	0	0	0	0	0	1	1	0.5%
② 議員報酬が少ない	0	2	5	6	7	7	27	14.1%
③ 家族や周囲の理解が得られない	1	1	1	2	2	3	10	5.2%
④ 議員と自分の仕事の両立が難しい	7	9	7	15	13	8	59	30.9%
⑤ 議員と家事の両立が難しい	1	2	2	1	2	3	11	5.8%
⑥ 議員の仕事に魅力を感じない	10	3	5	5	4	10	37	19.4%
⑦ 村のことや政治に関心がない	5	4	7	4	7	7	34	17.8%
⑧ その他（具体的に ）	0	1	1	2	4	4	12	6.3%
	24	22	28	35	39	43	191	



「議員と自分の仕事の両立が難しい」が30.9%と最も多く、議員活動と本業の両立の難しさが、なり手不足の最大要因と認識されていることがわかる。次いで「議員の仕事に魅力を感じない」「村のことや政治に関心がない」が多く、議員活動そのものへの魅力や関心の低下、報酬面への課題も大きな要因としてあげられている。

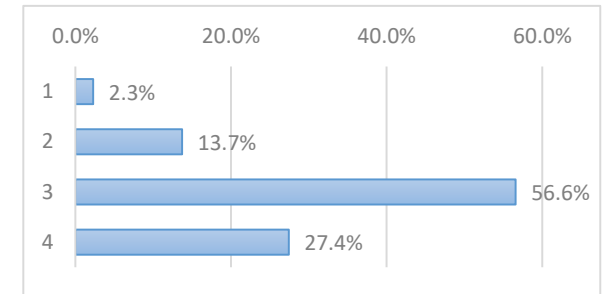
⑤その他（具体的に ）

30~39	男	報酬やワークライフバランスなど目に見える課題はもちろんあると思いますが、議員になることに対する周りの目を意識せざるを得ないところも二の足を踏むところではないでしょうか。また、自分が議員になったところで何ができるのか、何かを変えられるのかという成果を上げられるかも不確かな中で、よほどの熱意がない限りなかなか「やりたい！」とはなりにくいのではと思います。
40~49	女	賢く立派に育った人材が都市部に行ってしまう。
50~59	男	議員の必要性を感じられないから。お金に困っている人がやればいい。パートでいい。
60~69	女	具体的によくわからない。
	男	生活できるほどの報酬がないため。
	男	自分では役に立ってると思っているから。

70以上	男	年齢的に考えられない。
	女	歳を取りすぎて居る事や学歴が無い。
	男	仲間づくりが大変。

問11 貴方は村民のために議員として働いてみたいと思いますか。

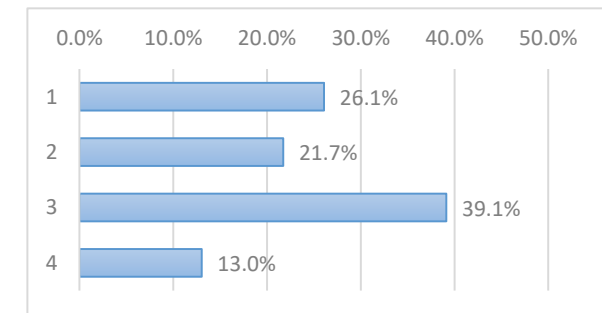
	18~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70以上	合計	
① ぜひやってみたい	1	0	0	0	1	2	4	2.3%
② 条件が揃えばやってみたい	2	4	5	3	5	5	24	13.7%
③ まったく思わない	11	6	15	17	21	29	99	56.6%
④ 議員の仕事がわからないのでどちらともいえない	10	7	9	6	8	8	48	27.4%
	24	17	29	26	35	44	175	



「まったく思わない」が56.6%と最も多く、半数以上が議員として活動する意思を持っていない結果となった。一方で「条件が揃えばやってみたい」「ぜひやってみたい」は16%となり、環境や条件次第では議員活動に関心を持つ層もみられた。

②「条件が揃えばやってみたい」を選択された方。その条件は。

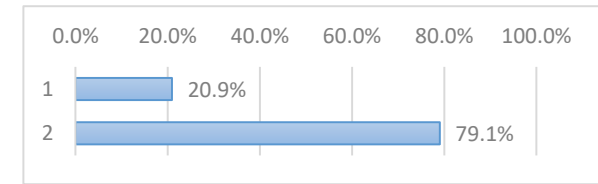
	18~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70以上	合計	
① 報酬が充分（生活可能）であれば	0	2	0	0	4	0	6	26.1%
② 家族や周辺（地域等）の応援が得られれば	0	1	0	0	0	4	5	21.7%
③ 職場の理解が得られれば	0	2	2	2	2	1	9	39.1%
④ その他	1	0	0	0	0	2	3	13.0%
	1	5	2	2	6	7	23	



「職場の理解が得られれば」が最も多く、議員活動と仕事の両立への理解が重要であることがうかがえる。また経済面や周囲の支援体制も議員活動への意欲に影響している結果となった。

問12 貴方は議員に自分の意見や要望を伝える機会がありますか。

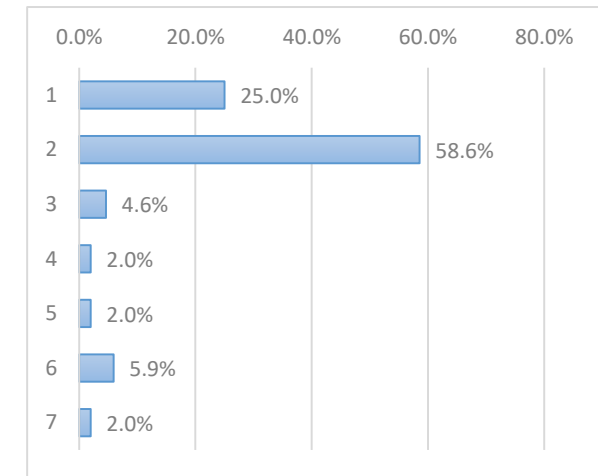
	18~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70以上	合計	
① ある	4	3	7	10	8	8	40	20.9%
② ない	20	15	22	25	27	42	151	79.1%
	24	18	29	35	35	50	191	



「ない」が79.1%と大半を占め、多くの村民が議員へ意見や要望を伝える機会が少ないと感じている。

② 「ない」を選択した方に伺います。その理由を教えてください。

	18~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70以上	合計	
① 伝える意思や要望がない	5	7	2	3	7	14	38	25.0%
② 伝える手段が分からない	12	6	10	15	19	27	89	58.6%
③ 議員に意見・要望しても実現しない	0	0	1	2	3	1	7	4.6%
④ 意見や要望は直接役場に伝えている	0	1	0	2	0	0	3	2.0%
⑤ 議員に遠慮して伝えていない	1	0	0	2	0	0	3	2.0%
⑥ 知っている議員がいない議員がいない	1	1	7	0	0	0	9	5.9%
⑦ その他（具体的に）	1	0	2	0	0	0	3	2.0%
	20	15	22	24	29	42	152	



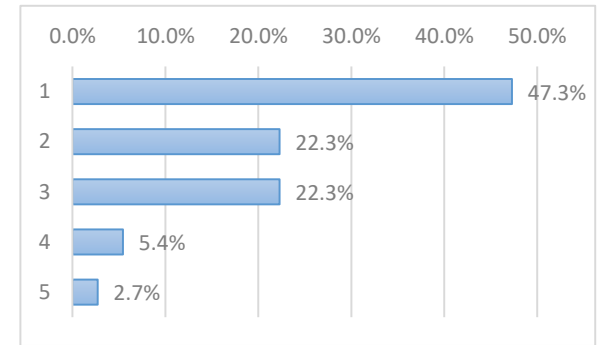
「伝える手段が分からない」が58.6%と最も多く、次いで「伝える意思や要望がない」が25.0%となっている。議会や議員への不信感よりも、意見を伝える方法が十分に周知されていないことが課題としてうかがえる。

⑦その他（具体的に）

18~29	女	特に意見や要望はないから。
40~49	女	伝えたいと思っていないから。
	女	機会はあるけど特に話すことはないです。でも、まちづくりトークに議員は参加するべきだと思います。

問13 貴方は議会や議員の在り方として、何を期待しますか。

	18~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70以上	合計	
① 村及び村民のための政策の提言	12	14	13	18	11	19	87	47.3%
② 村の行財政運営などに対する議会のチェック機能	5	1	4	9	9	13	41	22.3%
③ 村民生活で困っていることの相談相手	7	2	10	7	8	7	41	22.3%
④ 議会での審議結果などに関する村民への報告	0	0	0	1	3	6	10	5.4%
⑤ その他（具体的に）	0	0	2	0	2	1	5	2.7%
	24	17	29	35	33	46	184	



「村及び村民のための政策の提言」が47.3%と最も多く、議会や議員に対して政策立案への期待が高い結果となった。次いで「行政運営に対する議会のチェック機能」と「村民生活の相談相手」がともに22.3%となっている。議会には情報発信よりも、村民に寄り添った具体的な活動が期待されている。

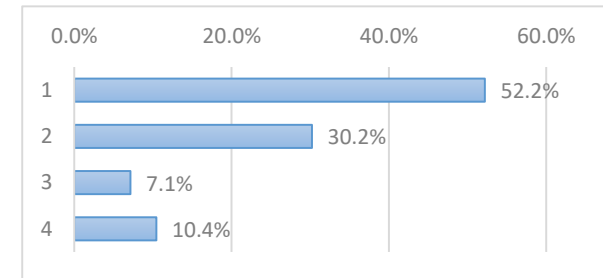
⑤その他（具体的に）

40~49	女	村民の代表である議員の方々には常に初心を忘れず、村民に寄り添ってほしいと思っています。
70以上	男	議員協議会の公開を要望する。

問14 現在の議員報酬額についてどう思いますか。

(議長 267,000円 副議長 211,000円 議員 169,000円)

	18~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70以上	合計	
① 現行どおりで良い	15	9	14	13	15	29	95	52.2%
② 現行より高くすべき	3	6	10	13	13	10	55	30.2%
③ 現行より低くすべき	2	1	3	3	2	2	13	7.1%
④ その他(具体的に)	4	0	1	6	4	4	19	10.4%
	24	16	28	35	34	45	182	



「現行どおりで良い」が52.2%と最も多く、半数以上を占めた。次に「現行より高くすべき」が30.2%、「現行より低くすべき」が7.1%となっている。全体としては、現在の議員報酬を維持する考えが多い結果となった。

33

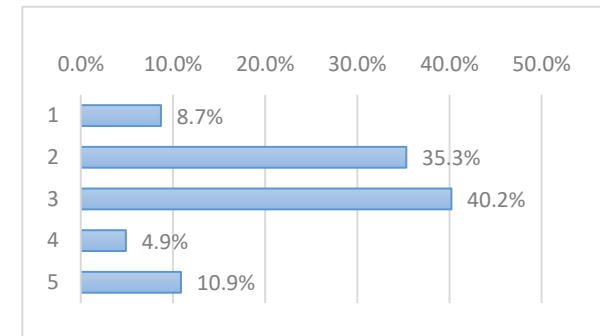
④その他(具体的に)

18~29	女	報酬の差を小さくすべき。
	女	議員として存在しているだけで、実際に行った業務内容が現在の報酬額に見合っていない様子の場合にのみ、現行より低くすべき。逆に、現在の報酬額以上の働きをしていると多数の人が思えるような方にはその都度現行より+で報酬をつけるべき。
	男	村が良くなるのであれば、妥当な金額であればいいと思う。議会討論等で寝る等、あり得ない行動が見受けられる場合や議員としての働きにそぐわない場合は減額するべき。
30~39	女	1~2万円は増やしても良いと思う。
50~59	男	議長副議長と議員との差が理解できない(長がどのように決まりどんな違いがあるのかなど)。相対的に報酬は安いと感じます。
	男	全国一律にするべき
	女	そもそも、村議を職業として生活できるものなのか?
	男	副議長の報酬は下げている。その分を議長に回したらいいと思う。
60~69	女	日々の仕事内容をわかっていないので適正かどうかわからない。
	女	議長から議員の報酬金額の差。
	男	議員以外に仕事をしなくても生活できるだけの報酬。
	男	具体的にはよくわからない。

70以上	女	活動内容が、分からないので、何ともいえない。
	女	議長、副議長の差はそんなにいない。
	男	金額より質や能力。
	男	分からない。

問15 貴方は村議会に村民の声が反映されていると思いますか。

	18~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70以上	合計	
① 反映されている	4	3	1	3	3	2	16	8.7%
② やや反映されている	11	11	8	8	9	18	65	35.3%
② どちらともいえない	8	3	17	17	13	16	74	40.2%
② やや反映されていない	2	0	1	1	2	3	9	4.9%
③ 反映されていない	0	0	1	6	7	6	20	10.9%
	25	17	28	35	34	45	184	

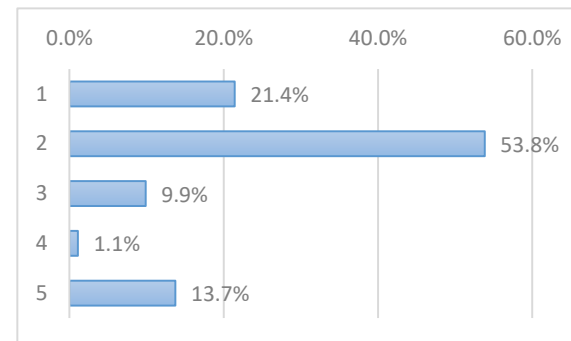


「どちらともいえない」が40.2%と最も多く、次いで「反映されていない」は10.9%となった。一定程度評価する声がある一方で、判断が難しいと感じている回答も多い結果となった。

問16 これまで村議会では、議会運営の活性化のため、次のような取組を進めてきましたが、あなたはどのように評価しますか。

- インターネット中継やSNSによる情報発信の充実
- 住民提案型予算制度の導入
- 議会だよりのカラー化など分かりやすい広報活動
- 議会カフェ、意見交換会の開催

	18~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70以上	合計	
① とても評価する	9	6	7	8	2	7	39	21.4%
② ある程度評価する	9	8	14	18	17	32	98	53.8%
③それほど評価しない	1	1	4	3	6	3	18	9.9%
④ 全く評価しない	0	0	0	1	1	0	2	1.1%
⑤ わからない	3	1	5	4	8	4	25	13.7%
	22	16	30	34	34	46	182	



「ある程度評価する」が53.8%と最も多く、次いで「とても評価する」が21.4%となった。合わせると75.2%となり、多くの回答者が議会の取組を肯定的に評価している結果となった。評価しない、わからないと回答した人も一定数いるため、取組内容のさらなる周知が必要であることもうかがえる。

最後に議会に対する意見や要望をご自由にお書きください。

18 〜 29	女	やはりお金は大事だと思います。辛くてもお金が手に入るから仕事もできる。中札内村は助成金が豊かで、とても恵まれていると思います。今の時代でこれだけの助成金を受け取れるというのは、他にはないと思います。それだけ村からの支援を受けている一人一人への期待度も高く、幸せになれる条件が揃っているということかと思います。議員の方々は皆話やすく、村民の心に寄り添っているように感じられます。私は十勝生まれではありませんが、中札内村に来てよかったと思います。今の生活はとても楽しいので、議員さんにとっても感謝しています。
	女	数年前に中札内村に越してきました。この無作為に選出されたアンケートに、村民として答えるべきだと思い回答しました。しかし、自分自身議会だよりにすらまともに目を通せていないこと、議会の方々がどのように活動されているかを全く知らないことを実感したので今後は今以上に関心を向けていこうと思ういい機会になりました。これからも村をよろしく願います。
	女	議員さんはお偉いさんというイメージがあり、近寄りがたい存在に感じます。そのために議会への興味が沸きにくいのではないかと思います。議員さんの仕事や人柄などを知る機会があると、もっと議会に関心を向ける人が増えるのではないかなと思いました。

18529	男	中札内村の人は人がいいと他の地域の方から伺いました。皆さまの努力の賜物だと思います。この先ずっと続くように人を大切にしていきたいと思っています。
	女	キッチンスタジオって必要だったのでしょうか？全く使うことがないし、ある意味がない場所になっていると思います。役場が運営するのであれば、村のものとして認識することができますが、外部の企業に営業を委託していると聞き、税金の無駄遣いだと感じています。
30539	女	自分が無関心なことに反省しました。議会だよりなど見ていこうと思います。
	女	声を大きく上げる人の言うことばかりを聞くのではなく、本当に何が求められているのかを丁寧に見極めた政策づくりが大切だと感じます。確かに、どこに重点を置くかによっては不公平だという意見が出ることもあるかもしれませんが、なぜそこに重きを置いているのかをしっかりと説明し理解を得ることが重要だと思います。また、村の政策として行っている事業の中には、かなりお金をかけているものがいくつかあると思います。実際に投資金額に見合った成果があるのか、その事業が本当に必要なのか、実態調査も含め、もう少し明確にさせていただくことで、村民の理解も得られやすくなるのではないかと思います。
	男	議員さんの頑張りも大切ですが、自分も含めて中札内村のことは村民一人ひとりが主体的に関わり、よりよい村づくり、住みよいまちづくりを実現していくものだと思うので、仕事なり、意見を議員さんや役場に伝えるなり、イベントに参加するなり、村の人と関わったり、自分も何かしら主体的な行動をしていかなければと思います。
	女	議会にということではないけど、村について、村民の意見など声を聞いてくれる所はどこですか？今年の国道沿いの花壇のコーディネートはどなたがしていますか？村の商工会？大正町は毎年とってもきれいだと思っているのですが、中札内はイマイチ…と感じています。
40549	女	未就学児を持つ親として、日中に子育て支援センターを毎日一般開放してもらえると、親子共々リフレッシュできると思う。産前のタクシー利用は急な利用ができないので利用できずに終わってしまった。急に利用したいときも使えたら便利だと思う。くるくる号が毎日走っている訳ではないので、市街地でも民間タクシーが利用できると便利だと思う。商店街にパン屋や惣菜店などがあれば、年齢問わず利用したい人がいると思う。地域食堂はとてもおいしかったです。もっと回数が増えてもよいと思います。よろしく願いいたします。
	男	物価が高くなり、有害鳥獣に関わる経費がものすごくかかっています。現在の金額では経費の足しにしかありません。この状況を鑑みて報奨費の増額を要望してください。
	女	もっと村民が議会や村政について興味を持ち、より住みやすく魅力的な村になって欲しいと思います。
	女	高速道路からローソンに向かう車が、朝、横断歩道を渡ろうとしてる子供が居るのに止まらないのが危ないので、信号機付けるか、警察官立たせるか、何か対策をして欲しいです。毎年、除雪で、家の前に雪の山が凄くて迷惑です。硬すぎて雪かきも出来ないし、家から出れず、本当に迷惑です。(住宅街の区画の端にあるので)子供が居ても、雪山が高すぎて見えないので危険です。住宅街での除雪の進行方向を、適宜調整してください。同じ方向だと、片側だけが、山が高くなってしまうので。交流の杜付近の住宅街です。
	女	農業関係者しか分からない事案や用語は専門知識がないと分からないので、農業関係者ではない人にも分かりやすく説明してほしいと思います。
	男	正直、毎回同じような質問をする議員がいたり、議員の職責を全うしてない議員、資質がない議員も見受けられる。議員不足から誰でも議員になれるような体制はダメだと思う。
	男	これからも健全な運営をお願いいたします

5 0 5 9	女	このアンケートからオープンな議会を目指していることに気づかされました。一方、様々な試みが私個人には伝わっていませんでした。議会、議員と接触し、意見交換が楽しみになって村民各自が行動できるような仕組みシステムが必要なかもしれないと感じています。
	女	多様な立場の村民の意見を聞くことができる機会を増やしてほしい。会議等に出席できない人も多くいると思います。
	男	インターネットによる選挙（投票）の導入
	女	障害のある方々の現場や家族、関係者の意見や要望を（中高養・のぞみ園など）アンケートだけでなく、直接丁寧に聞いてあげてみてください。その意見や要望を実現させなくても、新しい世界観が広がってゆくと嬉しいです。
	女	税金が高すぎます。
	男	若い人や女性が議員になりやすい環境を作るべき。議員の定年制や任期制限など。
	女	議員の方にはありがたいと思っています。自分の生活でいっぱいなのでなかなか村の事まで考えることがありません。「こんなだったらいいな」と思う事はありますが、どこへ伝えればいいのかわからない。
	女	十年後、二十年後を見据えた村の未来像を提案したビジョンをお願いします。
	女	議員の方と接点がありませんが、これからもよりよい村づくりに貢献していただきたく思っています。最近の傾向としては、子ども、子育て世代に優遇措置が多いように感じておりますが、その他の子育てを終えたシニア世代にも優遇されることがもっとあると良いと思います。例えば、子どものお誕生日に贈り物とかありましたが、子育て終了世帯には優遇があまりないように感じました。ご検討をいただきたく、よろしくお願いたします。
	女	ぜひ若者が職業として選択肢のひとつとなるように議員報酬を現行より高くしてほしいと思います。
	男	日頃より議員の方々の活動に感謝いたします。
	男	〇〇議員が良く頑張っているように思う。
	男	議員の皆さんが村民の代表として村のために頑張っていることについては感謝しています。しかし、村民の代表としてという自覚がないのかと思います。まず、執行部側が議員の皆さんに説明をしている時の姿勢（座り方）とてもだらしません。自分たちが質問した事に対し執行部が答えているのにも関わらず、聞く態度ではないと見ています。議会はYouTubeで中継され誰でも見れます。村民の代表がそんな姿勢では困ります。また、執行部に対する質問が理解しにくいです。長々と話し、しつこく何度も質問している光景をよく見ます。中継を見ていてもわかりません。もっと端的に明確にお願いします。質問の内容ですが、数名の議員はしっかりと勉強し村民から意見を聞いて発言しているとわかります。しかし、その他の方は毎回同じような質問をし、詳しくその事について深く調べもしていない、一部の意見を大きく取り上げ議会で質問する等、村民の代表で意見を述べる立場であるならもっとレベルアップが必要だと思います。議員という立場はとても大変であるかと思いますが、村のために是非これからも頑張ってくださいと思います。
	女	最近、財政が悪化しているとしきりに言っていますが、これまで我が地域、我が世代、我が職業にお金を出すように要望した議員にも責任があると思われ、村だけに任せず議員も財政難を乗り越える手段、方法を考えるべき。議会の場も（議会軽視）しているのは議員であり、村長への政策提案は無く、質問議会になっている。全世界の人が見ている自覚を持ち、もっと議会と言う場の重みを考えて議会に望むべき。思いつきの発言は論外。議員としての当たり前の役割を完うしてから報酬の論議をして欲しい。

60569	女	村の無駄遣いを追求してほしい。例えば、ピアノは村に必要なのでしょうか？コンサートに必要なのでしょうか、村に必要ですか？（補助金が出ているのですが、あまり箱物ばかり作らないでほしい）キッチンを作ったみたいですが、あんな立派なキッチンは必要ですか？水道代金1カ月無料にするとか、そんなところに使ってほしい。
	男	議会では村全体のバランスを見て考えて運営していただきたい。議員さんは地域の考えも代弁していても地域エゴにならないようにしていただきたい。
	男	やりたいことはいっぱいあるけど、金がないのでアイデアを実現するために、土地を無料で使いたいとか、起業をしたいがそういうことを相談する相手がいない。村の中にどんな人がいて、どんな事を考えているかを理解してくれる人が必要です。
	女	このアンケートの記入方法が分かりにくい。このアンケートの折り方では返信用封筒に入らない。
	男	国保税が高すぎる。
	女	意見や要望はいつでもどのように伝えたら良いのか知っている議員さんがいません。でも選挙の時は入れてほしいと依頼されてもこちらも困ります。村に住まわせてもらっていますが、村民税を支払っていますので自分はよく思われていませんが、議会については関心がありません。村長も変わりましたがこれからは細かいところまで行き届いた住みよい村になればいいですが…
	男	直接議員に要望する方法もあるが、議会事務局等が窓口になって広く収集聞き取りし、議員につなぐルートがあれば良いと思う。
	男	各種政策の制度、内容を把握し村に対し適切な質疑と資質向上を期待する。
	男	これからも今まで以上に、議会議員の立場として村の様々なイベントに顔を出し、村民皆さんと会話をして欲しい。特に、若者や移住者、そして約90名の外国の方々とも交流できる場の確保に期待します。
	女	村の財政について、色々な噂を聞きますが、何が真実か判りません。議会でキチンと議論して頂きたいと思いますが、踏み込む議案は取り上げられず、無難な議題だけで進められている気がします。大津漁協でも問題になっているサラベツ川の汚染(発生源:村内事業所)に関しても全く議論されていない件についても不思議に感じています。

60569	男	<ul style="list-style-type: none"> ・議会の説明責任 村の財政悪化の要因は二つある。一つは前村長のばらまき体質。もう一つは、この8年間理事者のばらまきを許し、それに迎合し追従した議会の姿勢である。議会の大きな役割は、議決権とチェック機能であるが、制度の拡充や新たなバラマキを容認し要望してきたのは、他でもなく議会・議員である。そもそも付帯決議は何ら意味を持つものではなく、議決権・チェック機能を正当に行使するのであれば、予算修正動議又は予算否決が本筋である。令和7年度議会費の予算には、道外研修費1人20万円で10人分、東京・札幌ふるさと会への複数参加、議員研修費としての50万円、広報全道研修参加など、費用対効果を疑う予算が計上されている。結果としては、付帯決議を付したことが理由なのか、未執行予算もあるようだが、こうした根拠不明な予算付けをしている事実に対して、議会は説明責任を果たすべきである。議会改革を論じるならば、議会・議員自らが猛省し襟を正す必要がある。 ・チェック機能を果たすための議員の資質向上 行財政運営の法的根拠となる地方自治法・地方財政法、各種条例、財務規則の内容をどこまで把握しているか、疑問に感じることが多い。特に、財務規則は予算に関連する規則で、条例を凌ぐ規則である。行政にかかわる職員はその道のプロである。そのプロに対抗するには、議員の自己研鑽による基礎的知識の習得がなければ、太刀打ちなどできる筈がない。これまでの質疑では、正当な要点を指摘しているのに、確証となる根拠を持たないため、説き伏せられてしまうという状態が見えている。対外研修への参加ではなく、議会内部の基礎的研修を実践し、議会としてのチェック機能を高めるべきである。 ・一般質問の在り方改革 一般質問は、自治体の行財政全般にわたる議員主導の政策論議である。質疑と違うところは、政策提言や行政・執行権者の姿勢を質すものであり、細かな数字を尋ね、論拠のない意見や感想を述べ、自分の考えの是非を問うのは筋違いであり、謝辞の言葉も時間の無駄遣いである。一般質問は、政策論議である以上、確かに論拠が必要である。そのためには、徹底した事前調査、情報収集、受益者である村民の状況、事務事業の無駄の排除、現在と過去の傾向の把握など、論調の組み立て、入念な戦略が必要となる。こうした質問者の努力により、行政の変容を促し、村民を納得させる質問、村政運営の改善に繋がる質問になる。現状の一般質問の多くは、事前調査が不十分で質疑の域を脱するものではなく、一般質問の在り方改革が求められる。
	女	議員の方々の質問などは関心をもって読むようにしています。全議員の方々をトータルすると村として幅広く取り組まれていると感じますが。（難しいことはあまりわかりませんが）全国的に議員のなり手が少ないことも残念に思っています。個人的には女性が国会レベルでも圧倒的に少ない中で中札内の2人はますますと思いますが、本来なら50%に近づいてほしいなというのが本音です。
70以上	女	人口を減らさない対策、企業誘致、合同墓の設置などを考えてほしいです。
	男	一般質問で、小規模地方自治から、離れたような質問があると感じている。どのような程度の要望があり、熟度した要望なのかは分からないが、自治体の身の丈にあった内容で行政を進めるべきでないか。財政が逼迫している中で、要望を叶えるには、支出の裏付けも必要になる。それは、引いては支出の抑制では解決せず、歳入増加を村民に求めることになり、住民の使用料・利用料の増、有料化などが、一番手っ取り早く実施できる。議会や理事者のチェック機能と言われるが、発言内容について、企業並みに「費用対効果」を議員自身が検証することも必要ではないか。また提案方から検証方になる議員がいてもよいのではないか。
	男	議員という立場の人たちは、色々な人と交流を深め、改めて人が集まる場所にも出席することも必要ですが、気楽に村民を話し、そのような中から要望的なことをつかみ取って行くことを館得てほしいと思います。
	女	これからもよろしく願いいたします。議員の皆様の頑張りが感じられます。

70以上	女	バス券について。本当に助かります。皆さん喜んでいますが、足腰の悪い方が登り口が高く上がりず利用できないと困っています。何とかならないのでしょうか。
	男	議員の定数1名の欠員ですが、村の議員の定数は8名で良いと思います。
	女	議員さんは、村民に、よって選ばれているのに、勘違いしているのかな？と思われる方が、何人かいるのではと、思います。もっと、地に着いた取り組みを期待したいです。
	女	このアンケートを頂き、日頃、議会にあまり関心が無い事、議員さん任せだと痛感致しました。議員さんの皆様、村の為に有難う御座います。これからも、宜しくお願い致します。
	男	ふるさと納税をダメにしたり、村の財政をめちゃくちゃにしたときに、議会で追求するとか、辞任させるとかすべきだった。
	男	住民の声、もう少し聞いてほしい。今の議員さんは議会の中での議員で、もう少し外に出てやってほしい。村長も同じ。
	男	空き家、古い建物などが少しあると思うが、美しい村中札内が可哀そうに思う。看板の設置、題目として「ゴミは捨てないように」「ゴミは持ち帰ろう」「道路はゴミ箱じゃない」など、道路両側に看板を立ててほしいですね。
	男	村政のチェック機能も大切ですが、議員さん自身も村の政策や将来の方向性を考えて行動してほしい。
	男	議員にはもっと住民の意見に耳を傾けてほしい。住民の意見が届いている実感がない。
	男	議会報告会を最低年2回開催して住民の意見を聞いて欲しい。そして村政に取り入れる努力をしてもらいたい。